

学校名 秩父市立影森小学校
所在地 秩父市下影森1104番地
電話 0494-22-0779



1 本校の概要

明治6年の創立以来148年目を迎えた本校は、秩父市のシンボル「武甲山」が間近にそびえる歴史ある伝統校である。「かがやく瞳、げんきに挨拶、もりもり給食、リズムにのって響く歌声、心豊かに考え、話し合い、学び合う影森小」を合い言葉に何事にも意欲的な子供たち。また、渋沢栄一ゆかりの秩父鉄道、影森駅からも徒歩1~2分のところにあり、石灰を運ぶ機関車やSLが行き交う。窓から見える青天と大きな武甲山は、元気と勇気の源である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携
- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組
- ・図書委員会の活動



(2) 実践の概要

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ・「あじさい読書月間」「夏休み読書月間」「どんぐり読書月間」等を設け、毎日読書の習慣化を図り、達成者にオリジナル葉をプレゼントした。
- ・多読賞やベストリーダー賞を設け昼の放送で紹介し、読書ビンゴなど楽しく取り組めるようにした。

イ 家庭や地域との連携

- ・6年間家庭で学期毎に読書記録を確認してもらい足跡が残せる読書記録カードを作成している。
- ・地域の「読み聞かせ隊」の方々に朝読書の時間に本を読んでもらう、子供たちも毎回楽しみにしている。



- ・市立図書館と連携し、「お話し会」や「ブックトーク」を定期的に行った。秩父市の「セカンドブックスタート」や「お家読書支援事業」の取組で児童全員に希望の図書が配布され、読書の充実を図った。

ウ 学校図書館等の環境整備の工夫

- ・司書教諭補助員と連携し、分類番号を分かりやすく掲示し読みたい本がすぐに見つかるようにした。
- ・図書スペースを学校図書館以外にも複数設け、身近に本に触れられるようにした。



エ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

- ・家庭学習に役立つおすすめ本コーナーを設けた。
- ・低学年には、「安心安全に関する本」のコーナー、中学年には、「生きものの図鑑や環境に関する本」高学年には、「SDGsに関する本」や「歴史人物伝」など、ニーズや関心に合わせ、タイムリーに展示できるようにした。



- ・ICTを活用し「本の森」で国語の教科書と関連した本の紹介などを行い、学習活動の充実を図った。

オ 図書委員会の活動

- ・図書の貸出や返却整理など進んで行き、葉や読書啓発ポスターを作成し、毎日給食の時間に図書の放送を積極的に行った。図書館から本が届くと各教室に運ぶ手伝いをし、委員会発表では本の分類や紹介など楽しく分かりやすく発表した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書月間の取組を1回から4回に増やしたことにより読書の習慣化が図れ、自分だけのオリジナル葉を作るキャンペーンも好評であった。委員会発表ではコロナ禍もあり、リモートでの発表となったが、寸劇をビデオ化し多くの内容を伝えることができた。「読み聞かせ隊通信」のアンケートで読み聞かせボランティアに参加してくれる仲間が増え、市立図書館と連携して充実を図れた。

(2) 課題

ICTを活用し、学年ごとの取組や新着本・おすすめ本、調べ学習に役立つ本の紹介など、「本の森」を深化させ、読書と学習の充実を図りたい。